

4.<水球陣>関東学生リーグ第4戦

H26.6.7 対一橋大学 @専修大学生田プール

東大 7 5 3 3 1 8
一橋 3 4 2 2 1 1

得点者：池亀（4）、石田（1）、梶原（3）、浪間（7）、山田（3）

上位リーグ進出をかけた、絶対に勝たなければならない大事な一戦。
相手は一橋ということもあり、手堅く勝ちにいきたいところ。

第1ピリオド

センターボールは一橋へ。奪ったボールで早々に山田がキーパーの逆をついて得点する。一橋も負けずとカウンターで点を返すが、またも山田が得点し、反撃の芽を摘む。続いて浪間がパスインからきれいにシュートを決め得点。その後も東大が勢いで乗り切り、このピリオドで4点差を付ける。

第2ピリオド

第2ピリオドでも先制点を取って突き放したいところ。しかし、第一ピリオドでもいいポジショニングから決めていた一橋の8番に先制点を奪われる。しかし流れを明け渡すことはなく、セットを組んで東大も点を奪う。そして一進一退の攻防が続くものの、このピリオドも東大が制する。

第3ピリオド

一橋ボールから。相手に疲れが見え始め、パスをまわしながら攻めにくる展開が目立つ。東大はボールを奪った後に、右サイドへ移しそこから浪間が得点。ここからお互いに攻防の足取りが重くなるが、手堅く守りきりこのピリオドも制する。

第4ピリオド

疲れが見え始め、点差も開いているため気を緩めてしまいそうな場面だがなんとか守りきりたいところ。だが、ここでまたも一橋の8番が得点。とはいえ東大も焦ることなく点を奪い返し、強いプレスで相手にゴールを狙わせないディフェンスをする。こうしてリードを守りきり、すべてのピリオドを制して勝利。ゲームは18-11で東大。

見事勝利を収め、上位リーグに進出を決定。

しかし相手に多く点を取られてしまうという課題が残った。上位リーグで目標のインカレ出場を勝ち取るためには、まずはロースコアで競り合うことが必要であるため、次戦に向けて改善していきたい。

最後になりましたが、監督として指揮を執っていただいた三宅さん、観戦に来ていただいた林さん、吉田さん、飯塚さん、只野さん、有吉さん、誠にありがとうございました。

(文責 川島桜也)